

世界史探究

- 1 次の文を読み、以下の問い（1～9）に答えなさい。解答は1つだけ選んで番号をマークしなさい。

⑦ゲルマン人はさまざまな部族に分かれて、大移動の間に、①それぞれの国を建て、その結果、先住民のケルト人は時に地方に追われた。東ローマ帝国は、こうしたゲルマン人部族間の対立を誘いつつ勢力を保持し、6世紀半ばには、が一時、地中海における覇権を回復した。しかし、彼の死後、北イタリアにはが建国され、バルカン半島には④スラヴ人などが侵入し、東ローマ帝国はしだいに支配権を縮小させていった。

多くのゲルマン人国家は短命に終わったが、ガリア北部に進出したフランク人はに即位したメロヴィング家の⑤クロヴィスによって統一され、王国をきずいた。732年にカール＝マルテルがをトゥール・ポワティエ間の戦いで破った後、彼の子ピピンはローマ教皇の承認を得て王位につき、⑥カロリング朝を開いた。

問1 下線部⑦に関連して、ローマ帝政期に書かれたゲルマン人についての著述とその著者との組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

- ① タキトゥス — ゲルマニア ② タキトゥス — ガリア戦記
③ カエサル — ゲルマニア ④ カエサル — ガリア戦記

問2 下線部①に関連して、ゲルマン人が建てた国に関する記述として、最も適当なものを選びなさい。

- ① ヴァンダル人は、北アフリカに建国した。
② ヴァンダル人は、イタリアに建国した。
③ アングロ＝サクソン人は、北アフリカに建国した。
④ アングロ＝サクソン人は、イタリアに建国した。

問3 空欄㉗にあてはまる人物を選びなさい。

- ① グレゴリウス1世 ② コンスタンティヌス
- ③ レオン3世 ④ ユスティニアヌス

問4 空欄㉘にあてはまる国を選びなさい。

- ① ブルグンド王国 ② ランゴバルド王国
- ③ 東ゴート王国 ④ 西ゴート王国

問5 下線部㉙に関して、誤っている記述を選びなさい。

- ① 6世紀に、カルパティア山脈北方から移動した。
- ② 西スラヴ人は、ロシアの影響を受けてギリシア正教に改宗した。
- ③ 南スラヴ人のセルビア人は、ギリシア正教に改宗した。
- ④ 東スラヴ人は、ドニエプル川流域に展開し、ロシア人、ウクライナ人などに分かれた。

問6 空欄㉚にあてはまる年代を選びなさい。

- ① 476年 ② 481年
- ③ 496年 ④ 511年

問7 下線部㉛の人物が、改宗したキリスト教の宗派を選びなさい。

- ① 単性論派 ② アリウス派
- ③ ネストリウス派 ④ アタナシウス派

問8 空欄㉜にあてはまる語句を選びなさい。

- ① メロヴィング朝 ② ウマイヤ朝
- ③ ザクセン朝 ④ カペー朝

問9 下線部㉝に関連して、カロリング＝ルネサンスとは関係のない記述を選びなさい。

- ① 宮廷を中心に、学芸の復興が奨励された。
- ② アルクインら学識者が招かれ、ラテン語の正書法の確立に努めた。
- ③ アルファベットの小文字が発明された。
- ④ スコラ学が、トマス＝アキナスによって大成された。

- 2 次の文を読み、以下の問い（10～18）に答えなさい。解答は1つだけ選んで番号をマークしなさい。

唐では、9世紀末、㊦山東地方から黄巢の乱がおこると、全国的な農民の大反乱へと発展して、10世紀の初めには唐は節度使 によってたおされた。その後、華北では約50年間に五つの王朝が交替し、そのほか各地でも10あまりの国が興亡した。この時代を㊷五代十国という。五代十国の争乱は、後周の武将であった趙匡胤が、960年に宋（北宋）を建てて終わった。

北宋は都を に定めて燕雲十六州をのぞく全国を統一し、節度使などの力をおさえた。また文治主義を重視し、㊠科挙制度を整備し、皇帝の独裁権の強化をめざした。その後、北宋はキタイ（遼）に侵攻されて、㊨北宋を兄、キタイを弟とし、㊫毎年多額の銀や絹を送ることで和議を結んだ。また、西北部では、チベット系の民族が西夏をたて、㊬東西貿易を支配して強大化した。北宋は西夏にも圧迫され、毎年、銀、絹、茶などを送らなければならなかった。こうして、北宋では官僚が増加し、その上、周辺民族との戦争によって防衛費も増加して、国家財政がゆきづまった。そこで、11世紀後半に神宗に宰相として登用された王安石は、国家財政の確立と軍事力強化のために㊭新法と呼ばれる富国強兵をめざした改革を行った。しかし、司馬光ら保守派の官僚や大地主、大商人などの反対にあい、やがてこの改革は中止された。

問10 下線部㊦に関連して、山東半島の歴史に関する記述として、最も適当なものを選びなさい。

- ① 戦国時代の趙は、この半島を自国の領土とした。
- ② 漢の武帝は前2世紀に、この半島に楽浪郡を置いた。
- ③ 遼は10世紀に、この半島にある燕雲十六州を領有した。
- ④ ドイツは19世紀末に、この半島の膠州湾を租借した。

問11 空欄㊩にあてはまるものを選びなさい。

- ① 安祿山
- ② 朱全忠
- ③ 張居正
- ④ 朱元璋

問 15 下線部㉔に関連して、次の絵の題名とそこに描かれた河川名との組合せとして、最も適切なものを選びなさい。

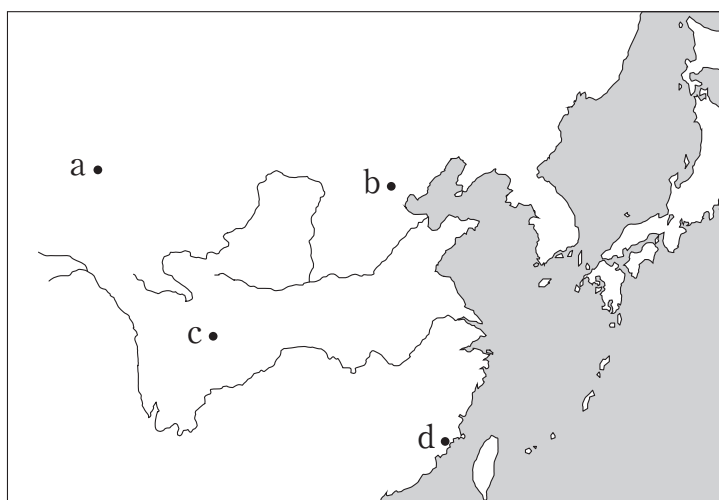


- ① 「清明上河図」－ 黄河 ② 「清明上河図」－ 長江
- ③ 「坤輿万国全図」－ 黄河 ④ 「坤輿万国全図」－ 長江

問 16 下線部㉕の出来事の名義として、最も適切なものを選びなさい。

- ① 靖康の変 ② 土木の変
- ③ 澶淵の盟 ④ 戊戌の政変

問 17 下線部㉖に関連して、次の地図中の a～d のうち、古来東西貿易の要衝であった敦煌の位置を示したものとして、最も適切なものを選びなさい。



- ① a ② b ③ c ④ d

問 18 下線部㉔に関連して、各新法とその内容との組合せとして、誤っているものを選びなさい。

- ① 市易法 — 中小商人に融資する法
- ② 青苗法 — 貧しい農民に稲・麦の苗を無償で与える法
- ③ 均輸法 — 物資流通の円滑化と物価安定をはかる法
- ④ 保甲法 — 農村組織をつくらせて治安維持や民兵の訓練を行わせる法

- 3 次のA及びBの史料を読み、以下の問い（19～27）に答えなさい。解答は1つだけ選んで番号をマークしなさい。

史料A：

第2条 大皇帝は、イギリスの人民が、一族郎党を連れて沿海の ア などの五港に寄居し、妨げられることなく貿易通商を行うことをお許しになった。……

第3条 ……ここに大皇帝は、①香港一島を、⑦イギリス君主に与え、以後も君主の位を継承したものが永きにわたってここを主管し、任意に制度や法をつくり、治めていくことをお許しになった。

第5条 およそ、英国商人で、広東において貿易する者は、これまで、すべて額設（規定により設置された）の行商または公行と称する者の独占に委ねていた。今、大皇帝は、以後、必ずしも旧例にしたがわず、英商が、各港口において貿易する場合、いずれの商人と交易するかを論ぜず、均しく自由に交易することを認める。

史料B：

第3条 イギリスの欽差大臣〔公使〕をはじめとする外交人員およびその眷属は、首都に滞在でき、またそれを長期にすることができただけでなく、本国とも随時往来する。…

第8条 ⑧キリスト教は、新教またはローマ・カトリック教にかかわらず、ともに徳行の実習を教え、己の欲するところを人になすべきことを教えるものである。それゆえ、その宣教者は、清国官吏の保護を受けるべき権利を有する。……

『世界史史料』、『新訳 世界史史料・名言集』による。作問上の理由により、一部書き換えがある。

[illegible]

① 1841 年 ② 1842 年
③ 1850 年 ④ 1858 年

- ① 広州・福州・厦門・寧波・上海
- ② 天津・広州・福州・寧波・上海
- ③ 南京・天津・広州・厦門・上海
- ④ 青島・天津・広州・厦門・上海

① 1945 年 ② 1957 年
③ 1997 年 ④ 2000 年

[illegible]

① 外国公使の北京駐在 ② 協定関税の導入

③ 賠償金の支払い ④ 行商を通じた貿易と徴税の廃止

[illegible]

① アダム＝シャル ② マテオ＝リッチ
③ ブーヴェ ④ カステイリオーネ

問 27 下線部㊦の宗教の影響を受けた宗教組織が起こした乱を選びなさい。

① 黄巢の乱

② 黄巾の乱

③ 紅巾の乱

④ 太平天国の乱

- 4 次の文を読み、以下の問い（28～36）に答えなさい。解答は1つだけ選んで番号をマークしなさい。

1829年以降の⑦アメリカでは、西部出身の①ジャクソン大統領が「ジャクソニアン・デモクラシー」と呼ばれる西部小農民や東部小市民の政治・経済的権利を拡大する政治を行った。彼は⑤それまでの大統領たちと異なり、名望家や地主出身者ではなく、既存の⑥貴族的な体制を打破した。一方で④先住民に対しては、⑧強硬策をとった。

問 28 下線部⑦に関する記述として、波線部の誤っているものを選びなさい。

- ① 南部の奴隷制大農場（プランテーション）の農場主は、綿花やタバコの栽培を大規模に営んだ。
- ② 1870年代に始まった恐慌は、トラストなどによる資本と企業の集中・独占を促した。
- ③ セオドア＝ローズヴェルトは、中米諸国に対しドル外交を展開した。
- ④ 1929年に始まる世界恐慌に対して、フランクリン＝ローズヴェルトは、ニュー＝ディール政策により労働者を保護し、生産活動の回復を図った。

問 29 下線部⑦に関連して、19世紀半ばのアメリカ合衆国に関する記述として、最も適当なものを選びなさい。

- ① アメリカ合衆国憲法が制定された。
- ② 民主党は北部を主な支持基盤とした。
- ③ カリフォルニアで金が発見され、多くの移民が殺到した。
- ④ 中国の門戸開放を提唱した。

問 30 下線部④に関連して、20 世紀アメリカの大統領について述べた記述として、誤っているものを選びなさい。

- ① ケネディは、ヴェトナム戦争を終結させた。
- ② カーターは、人権外交を展開した。
- ③ レーガンは、「強いアメリカ」を唱えた。
- ④ ブッシュ（父）は、マルタ会談を行い、東西冷戦の終結を宣言した。

問 31 下線部⑤に関連して、ウィルソン大統領の事績として、誤っているものを選びなさい。

- ① 反トラスト法を強化した。
- ② 労働者保護立法を実施した。
- ③ スエズ運河の管理権を握った。
- ④ 「新しい自由」を掲げた。

問 32 アジアとアメリカ合衆国の関係について述べた文として、誤っているものを選びなさい。

- ① アヘン戦争後、アメリカ合衆国は清と望厦条約を締結した。
- ② アメリカ＝スペイン戦争（米西戦争）の結果、アメリカ合衆国はフィリピンを獲得した。
- ③ セオドア＝ローズヴェルト大統領の仲介により、日清戦争の講和条約が結ばれた。
- ④ 朝鮮戦争には、アメリカ軍を中心とする国連軍が派遣された。

問 33 下線部⑥に関連して、貴族や支配層について述べた記述として、最も適切なものを選びなさい。

- ① 清代に、貴族の間で清談が流行した。
- ② 朝鮮（李朝）では、両班が政治的実権をめぐって争った。
- ③ プロイセンでは、ジェントリと呼ばれる貴族層が台頭した。
- ④ 革命前のフランスで、貴族は第三身分を構成した。

問 34 下線部④に関連して、インカ帝国とその解体後のラテンアメリカの状況について述べた記述として、誤っているものを選びなさい。

- ① インカ帝国は、首都テノチティトランを中心に栄えていた。
- ② インカ帝国は、ピサロによって滅ぼされた。
- ③ 先住民は、征服以後、鉱山などで過酷な強制労働に従事させられた。
- ④ 先住民の人口が激減すると、多くの奴隷が輸入されるようになった。

問 35 下線部④に関連して、1830年代のアメリカで行われた先住民の強制移住先は、1803年に□A□から購入したルイジアナ内部に設定された。□A□にあてはまる国と、強制移住を進めた下記の法文の解釈との組合せとして、最も適切なものを選びなさい。

…合衆国大統領は、合衆国領土内のミシシッピ川以西のいずれの州または准州にも含まれず、かつインディアン所有権が消滅している土地で、必要と判断されたところは、いくつか適当な数の地域に区分し、そこからインディアン部族やネーションが現在居住している土地の代替地を選択して移住させることができるような法を定める権限を有する。

*『歴史学研究会編 世界史史料7』より引用。

- ① イギリス — 合衆国大統領は、インディアンを移住させることができる
- ② イギリス — インディアンは、ミシシッピ以西に移住せねばならない
- ③ フランス — 合衆国大統領は、インディアンを移住させることができる
- ④ フランス — インディアンは、ミシシッピ以西に移住せねばならない

問 36 以下の文章の著者と文の題目の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

だが、イギリスとアメリカは親子関係にあると主張する者もある。そうであるならば、イギリスの所業はなおさら恥さらしである。野獣ですら、自分の仔をむさぼり食いはしない。野蛮人ですら、自分の一族を相手に戦いを仕掛けることはない。したがって右の主張は、もしそれが本当であるならばかえってイギリスを非難することになる。だが親子関係という言い方は正しくない。いや、正しいのは一部分だけだ、と言うべきであろう。「親に相当する国」というフレーズは、国王やその取り巻きが策略として用いてきたのである。そこには、騙されやすい私たちの心の弱みに、不当な先入観をすり込もうとする下劣で陰険なもくろみが窺える。アメリカにとって親にあたる国は、イギリスではなくてヨーロッパである。アメリカという新世界は、これまで避難所となってヨーロッパ各地から、政治上、宗教上の自由を求めて迫害された人々を受け入れてきた。彼らはここに、母親の優しい抱擁を振りほどいて逃げ込んできたのではない。怪物の残酷さに耐えかねてやって来たのである。そして、最初の移民を故国から追いやったのと同じ圧制が、今も移民の子孫を押しひしんでいるのである。それはこれまでのところ、イギリスについての真実である。

* 出題上の理由から、出典は示さない。

編集部注：著作権の都合上、出題時と異なる訳文を掲載。

- ① ロック — 統治二論
- ② ロック — コモンセンス
- ③ ペイン — 統治二論
- ④ ペイン — コモンセンス